

第2章 水質汚濁の現状と対策

第1 概況

本市の河川や水路のほとんどは、生活系・産業系排水などを取り込みながら、大船渡湾、綾里湾、越喜来湾、吉浜湾に注いでいます。

こうした河川・水路や海域等の公共用水域は、利用目的の観点から環境基準が設定されています。本市では盛川、吉浜川、大船渡湾、綾里湾、越喜来湾、吉浜湾において環境基準が設定されており、県ではその達成状況を把握するため、常時監視測定を行っています。また、市でも市内10地点で水質測定を行っています。

その結果、盛川、吉浜川、綾里湾、越喜来湾、吉浜湾については環境基準を達成しているものの、大船渡湾については一部の項目において未達成となっていることから、水質汚濁防止法や岩手県生活環境保全条例に基づき、県（大船渡地方振興局）と連携して工場・事業場の立入検査や排水処理施設の設置・管理指導を行うとともに、「大船渡湾水環境保全計画」などにより施策の推進を図っています。

第2 公共用水域等の監視

1. 河川等の水質

(1) 盛川本流の水質

盛川は本市の主流河川であり、環境基準A類型に指定されています。

上流では、盛川の主流である鷹生川で鷹生ダムが平成18年度に完成し、中流域から下流域にかけては河川改修工事が進むとともに、河川敷地は公園が整備されるなど、親水域としての機能も整いつつあります。

その反面、近年、河床に大量のヨシが群生し、冬季に立ち枯れたものが大雨時に大船渡湾内に流れこむといった課題もあります。

県では、本市において、権現堂橋地点、佐野橋地点、川口橋地点で常時監視測定を実施しており、平成18・19年度の水質は全ての地点において環境基準を達成しています。また、市の測定でも環境基準をあてはめると、良好な結果になっています。

表20・21は平成18・19年度の水質測定結果、図5・6は過去10年間のBOD*の経年変化を示しています。

表20 盛川の水質測定結果（県測定）

（単位：mg/l）

地 点	年度	DO*	BOD	SS*	地 点	年度	DO	BOD	SS
上流 権現堂橋	18	11	<0.5	1	下流	佐野橋	11	1.2	1
						佐野橋	11	0.8	2
	19	12	1.4	2		川口橋	10	0.6	3
						川口橋	9.9	1.0	4

（注） BODは75%水質値*、DO・SSは年平均値

図5 盛川本流のBOD（75%水質値）経年変化（県測定）

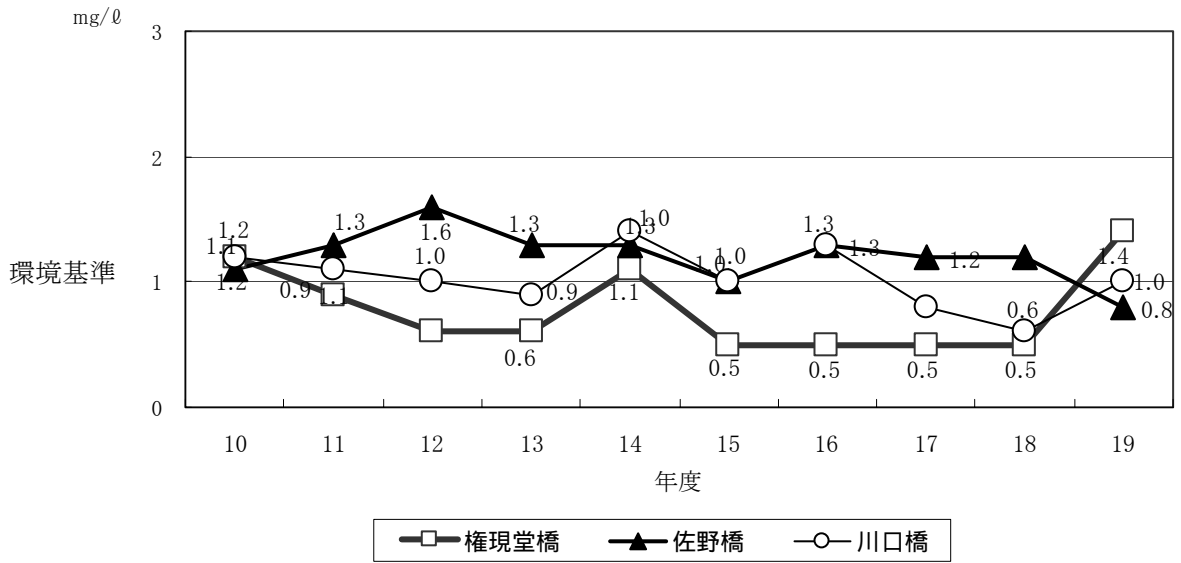


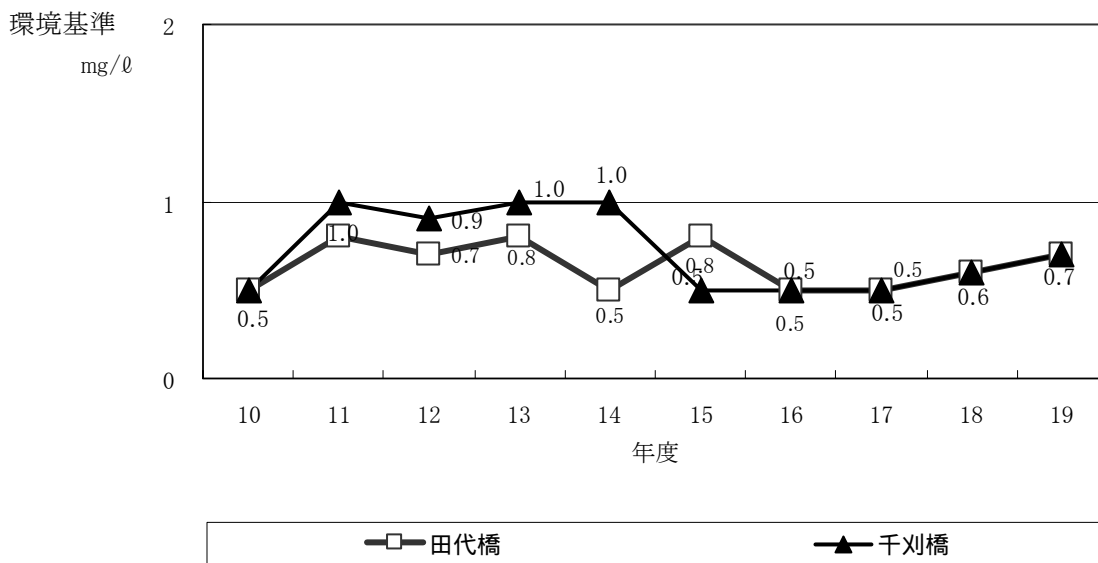
表 21 盛川の水質測定結果（市測定）

（単位：mg/l）

地点	年度	DO	BOD	SS	
上流	田代橋	18	13	0.6	1
		19	12	0.7	1
	千刈橋	18	13	0.6	1
		19	13	0.7	1

※ BODは75%水質値、DO・SSは年平均値

図6 盛川本流のBOD（75%水質値）経年変化（市測定）



(2) 立根川の水質

立根川は盛川の支流で環境基準A類型に指定を受けており、国道45号線とほぼ平行しながら南下し、猪川町字下権現堂地内で盛川に合流します。

立根川水域は、近年、住宅地化に伴う田畑の消失などが進んでいることから、水量の低下と相まって水質の悪化が懸念される状況にあります。

県では、本市において、一中前橋地点で常時監視測定を実施しており、平成18・19年度の水質は環境基準を達成しています。また、市の測定でも環境基準をあてはめると、良好な結果になっています。

表22は平成18・19年度の水質測定結果、図7・8は過去10年間のBODの経年変化を表しています。

表22 立根川の水質測定結果

(単位:mg/ℓ)

地 点	年度	DO	BOD	SS	地 点	年度	DO	BOD	SS
県測定 一中前橋	18	11	0.8	1	市測定 田谷橋	18	12	0.6	<1
	19	10	1.1	1		19	12	0.7	<1

※ BODは75%水質値、DO・SSは年平均値

図7 立根川のBOD(75%水質値)経年変化(県測定)

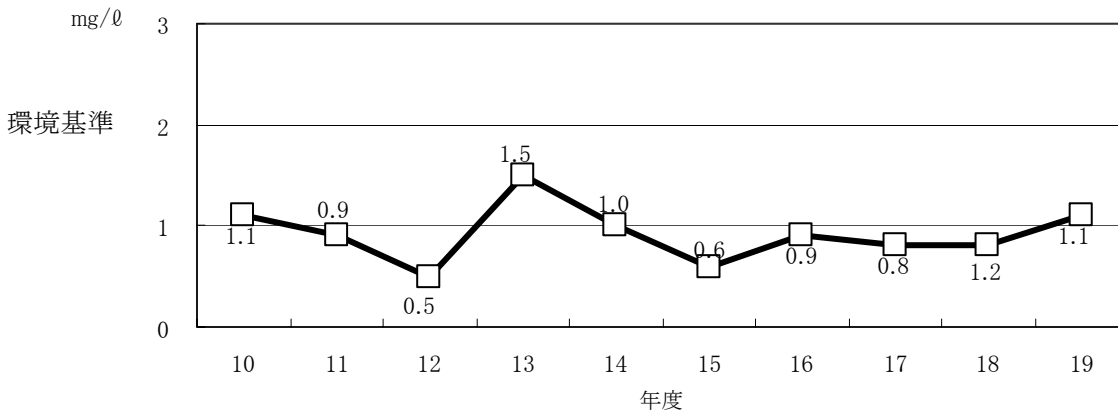
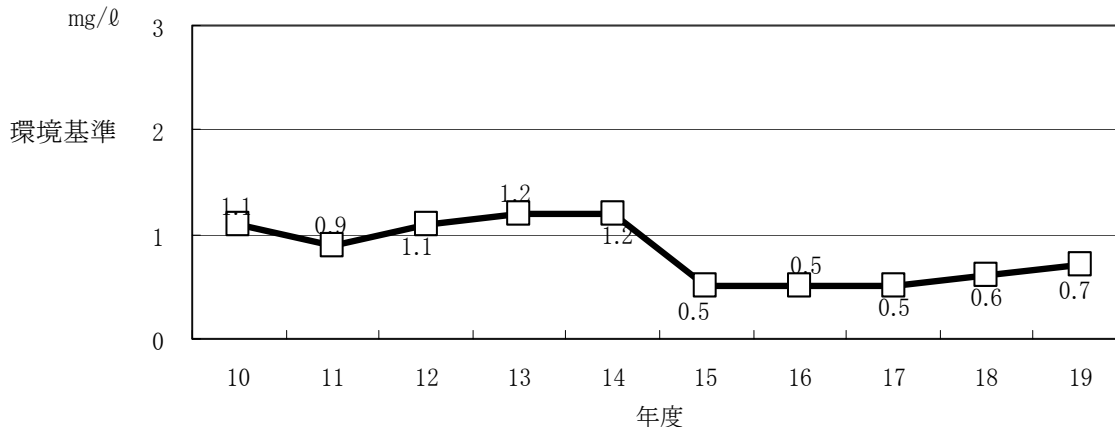


図8 立根川のBOD(75%水質値)経年変化(市測定)



(3) 吉浜川の水質

吉浜川は環境基準AA類型の指定を受けており、直接吉浜湾に流れ込んでいます。

県では、当市において、要橋地点で常時監視測定を実施しており、その水質は環境基準を達成しています。

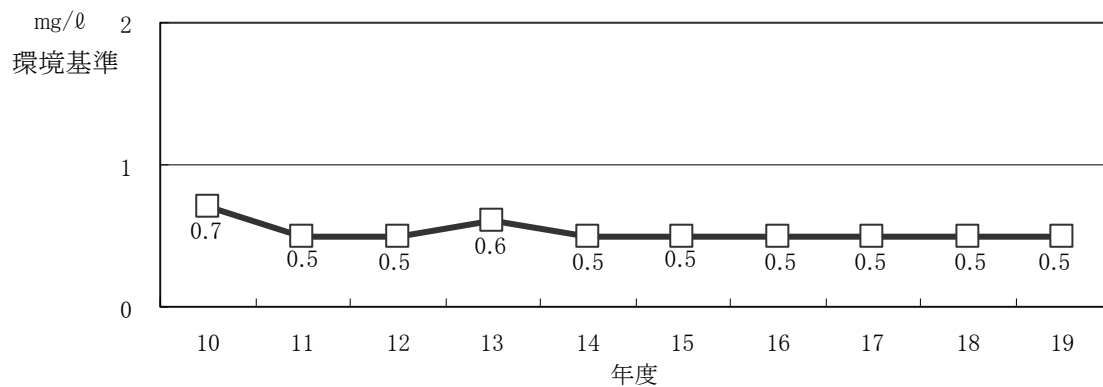
表 23 は平成 18・19 年度の水質測定結果、図 9 は過去10年間のBODの経年変化を示しています。

表 23 吉浜川の水質測定結果（県測定）（単位：mg/l）

地点	年度	DO	BOD	SS
要橋	18	10	<0.5	1
	19	10	<0.5	1

※ BOD は 75%水質値、DO・SS は年平均値

図 9 吉浜川のBOD（75%水質値）経年変化



(4) 坂本沢川、鷹生川、小通川、大野川、中井川の水質

坂本沢川、鷹生川、小通川、大野川、中井川は環境基準のあてはめがなされていませんが、盛川の支流になっています。

各河川ともほぼ透明を保っていますが、一部の河川で砕石や建設工事などに伴う濁水の流入がみられることから、市では水質測定を行っており、その結果は盛川の環境基準をあてはめてみると、良好な結果になっています。

表 24 は平成 18・19 年度の水質測定結果、図 10 は過去 10 年間の BOD の経年変化を示しています。

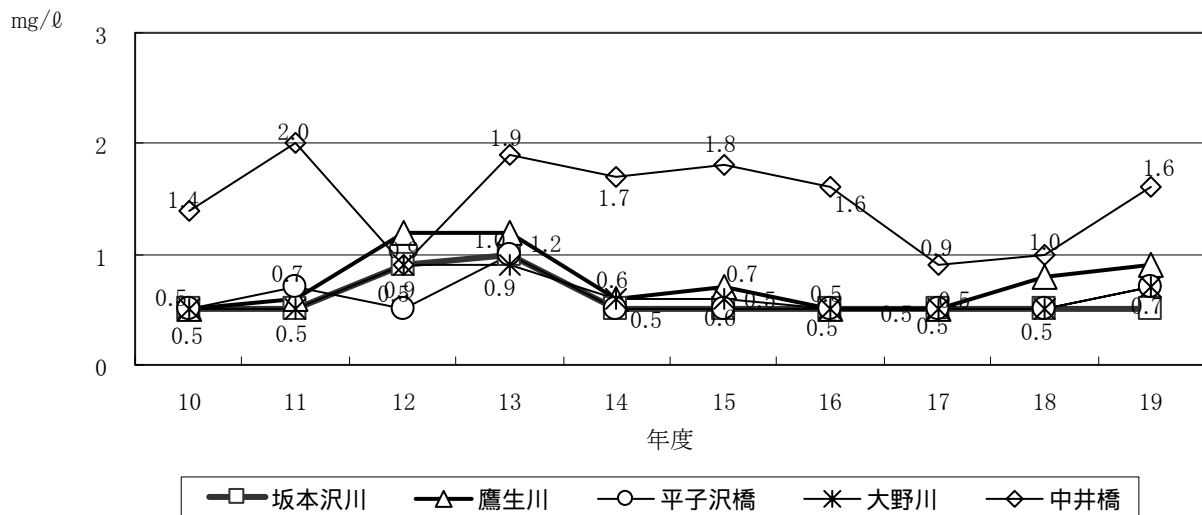
表 24 坂本沢川、鷹生川、小通川、大野川、中井川の水質測定結果

(単位:mg/l)

地 点	年度	DO	BOD	SS	地 点	年度	DO	BOD	SS
坂本沢川	18	12	<0.5	<1	大野川	18	13	<0.5	1
	19	12	0.5	<1		19	13	0.7	1
鷹生川	18	12	0.8	1	中井橋 (中井川)	18	12	1.0	1
	19	12	0.9	<1		19	12	1.6	2
平子沢橋 (小通川)	18	12	<0.5	1					
	19	12	0.7	<1					

※ BOD は 75%水質値、DO・SS は年平均値

図 10 坂本沢川、鷹生川、小通川、大野川、中井川のBOD(75%水質値)経年変化



(5) 須崎川の水質

須崎川は住宅や飲食店が集中する大船渡町を縦断し、大船渡湾に注いでいます。上流部は、山林の保水力の低下等に伴う水量の減少と相まって、生活排水等の流入による水質の汚濁が見られていましたが、現在は、流域7地域(約1,100世帯)で設立した「須崎川清流化対策推進協議会」が中心となり、継続して河川の定期清掃や各家庭での生活雑排水の汚濁負荷削減のための実践活動に取り組んでいるとともに、周辺では公共下水道の整備が進行し、水質の状況が良好になってきています。

須崎川には環境基準は設定されていませんが、県では明土橋地点で常時監視測定を実施しており、市でも田中橋地点で測定しています。

表 25 は平成 18・19 年度の水質測定結果、図 11・12 は過去10年間のBODの経年変化を示しています。

表 25 須崎川の水質測定結果

(単位:mg/ℓ)

地 点	年度	DO	BOD	SS	地 点	年度	DO	BOD	SS
県測定 明土橋	18	11	0.9	1	市測定 田中橋	18	13	<0.5	1
	19	11	1.7	1		19	12	1.1	<1

※ BODは75%水質値、DO・SSは年平均値

図 11 須崎川のBOD(75%水質値)経年変化(県測定)

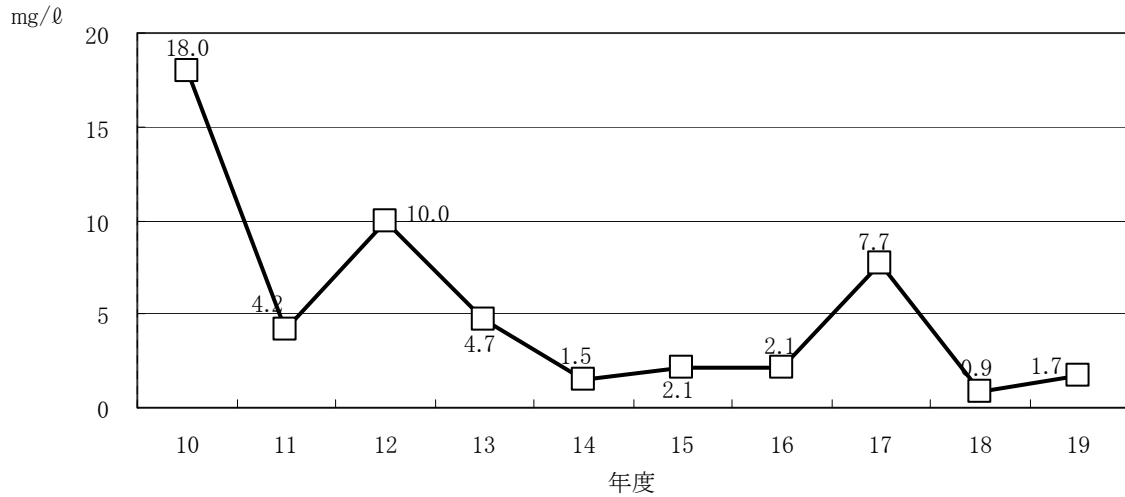
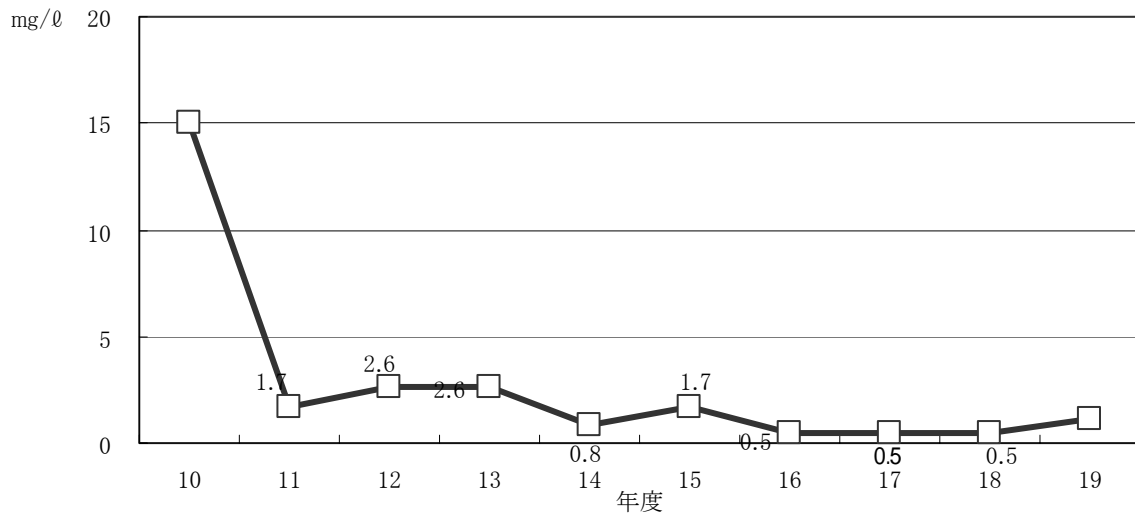


図 12 須崎川のBOD(75%水質値)経年変化(市測定)



(6) 新田都市下水路の水質

新田都市下水路は、盛町を起点に大船渡町に至るまで、一般家庭や工場、事業場等から排出される生活・産業系排水を取り込みながら大船渡湾の最奥部である茶屋前岸壁に注いでいます。

新田都市下水路は流れが緩やかであり、満潮時には流れが逆流・停滞することから、水路床への沈殿物や悪臭などの問題もありましたが、近年、流域周辺に公共下水道が整備されたこともあり、水質が改善傾向にあります。

新田都市下水路に環境基準は設定されていませんが、市では中港橋地点で測定を実施しています。

表 26 は平成 18・19 年度の水質測定結果、図 13 は過去 10 年間の BOD の経年変化を表しています。

表 26 新田都市下水路の水質測定結果 (単位:mg/l)

地 点	年 度	D O	B O D	S S
中 港 橋	18	7.2	4.0	3
	19	6.1	2.3	3

※ BOD は 75%水質値、DO・SS は年平均値

図 13 新田都市下水路の B O D (75%水質値) 経年変化

